

# 一般質問

市政全般にわたり19名の議員が質問しました。

※4~7面にわたり掲載



## 市民生活の安全・安心のために さらなる努力を！

吉田 義人 議員 《自民党・いさま》

本市は令和4年度に再び、県交通安全対策協議会から自転車交通事故多発地域に指定されましたが、どのような自転車交通事故防止対策を講じているのか伺います。また、自転車ネットワーク基本計画について、計画が示されてから既に5年目ですが、現在の整備状況を伺います。

次に、災害時の避難所開設について、避難所運営委員が不在でも、委員に代わって様々な対応が行えるように、各避難所施設の入口や防災備蓄倉庫等にQRコードを設置し、施設の開設手順や利用方法、利用条件など、誰もが開設から運用まで確認できるよ

うにすることが必要と考えますが、見解を伺います。

**市民部長** 対策として、座間警察署実施の自転車マナーアップキャンペーンでの市職員の啓発活動や交通安全フェスティバルに参加しました。

さらに、県警察本部の協力を得て、小学校3校で自転車交通安全教室を実施しました。

**都市部長** 整備状況は、ネットワーク候補路線51・06キロメートルのうち、1キロメートルであり、さらなる整備と計画の再検討を進めます。

**市長室長** QRコード等の活用については、他自治体等の取組を参考にしながら導入について検討していきます。



## 不登校児童・生徒の サポート体制の強化を

高波 貴志 議員 《自民党・いさま》

県の調査によると、不登校の児童・生徒の中でフリースクール等の民間団体、民間施設を活用している人数の割合は4・5%にとどまっている一方で、相談、指導を受けていない児童・生徒は34・9%と割合が多いことから、家庭学習をしている児童・生徒が相当数いることがうかがえます。家庭学習をしている児童・生徒について、本市の現状と教育支援の施設へつなげるための今後の取組を伺います。

**教育長** 令和3年度の不登校児童・生徒のうち、養護教諭及びスクールカウンセラー、教育委員会所管の機関、児童

相談所等の外部機関で相談や指導を受けた人数は約60%で、フリースクール等の民間団体や民間施設で相談や指導を受けた人数は約10%です。残りの約30%の児童・生徒は学校内外での相談や指導を受けていない状況ですが、主に学級担任が電話や手紙等で連絡を取り、学校とのつながりを切らないように努力しています。支援方法の一つとして、教育支援教室つばさや、フリースクール等の民間施設と連携しています。また、市内の学びの場等に自ら行くことが困難な児童・生徒には、スクールソーシャルワーカーの同行支援も行っています。



## 入札制度について 地元業者育成の観点を踏まえ検討する

竹田 陽介 議員 《自民党・いさま》

入札制度について、本市の最低制限価格算出方法は計算型と平均額変動型の2種類です。委託・コンサルタント案件は全て平均額変動型、工事案件は土木一式で、予定価格が130万円超から1500万円未満は計算型、1500万円以上から1億5千万円未満は平均額変動型です。平均額変動型の適用拡大の根拠と現制度が経済性、公平性、透明性を確保し、地元業者育成等に寄与すると考える合理的理由を伺います。また、入札におけるくじ引の多発が適用拡大の理由とのことですが、平均額変動型は平均額を操作できる仕組みと考えます。当

局の見解を求めます。

**総務部長** 平均額変動型は最低制限価格が応札状況により変動することから、入札の公平性が高まるとともに、入札事業者が市場価格を反映しながら応札を行うため、市場価格に近い落札額になると考えます。計算型では、最低制限価格での入札が複数発生し、くじ引での落札が多く見られました。平均額変動型については、過度な低入札による品質の低下を防止し、競争入札の適正化と品質を確保するため、段階的に適用を拡大しました。入札制度については、様々なご意見がありますので、引き続き検討していきます。



## 本市の通園バスの 置き去り防止対策を問う

加藤 学 議員 《座間市公明党》

令和4年9月に静岡県県の認定こども園で、3歳の女児が通園バスに約5時間取り残され、熱射病により死亡した事件がありました。通園バスに園児が置き去りにされた事件について、市長の所見と本市の対応を伺います。

**市長** 令和3年7月には福岡県内の保育園で、令和4年9月には静岡県内の認定こども園で、通園バスに園児が置き去りにされたことによる死亡事件が立て続けに起こりました。本来、幼稚園、認定こども園、保育所などは、園児が安全に生活することができ、保護者が安心して大切なお子様を預けることができる施設



## ご遺族が行う死亡後の 手続の負担軽減を問う

伊藤 多華 議員 《座間市公明党》

令和元年第3回定例会で、ご家族が亡くなった後にご遺族が各種手続をスムーズに進める仕組みとして、おくやみコーナーやご遺族支援コーナーの設置と手続のワンストップ化について質問しました。

その後の検討状況について伺います。また、手続の内容を分かりやすくまとめた、おくやみハンドブックという冊子を配布している自治体が増えており、死亡後の手続を行うご遺族の負担軽減を目的として提供し、市民サービスの向上に努めていると伺っていますが、本市の見解を伺います。



## 相武台前駅におけるホームドアの 設置への取組について

松橋 淳郎 議員 《さま大志会》

駅のホームにおける安全性の向上は、利用者にとって重要な課題です。相武台前駅管内の人身事故は、令和に入り4年間で16件起きています。他の地方公共団体では、鉄道駅へのホームドアの早期整備や視覚障がい者の安全対策について要望書を国土交通省に提出しているところもあります。ホームドアとは、駅のホームからの転落やホーム上での電車との接触事故を防止するために設置される可動式の仕切りのことです。市民の移動手段である公共交通機関を安心して利用できるように、小田急電鉄株式会社や市民と連携協力して、ホームドアの

整備推進に取り組む必要性を感じますが、見解を伺います。

**市長** 小田急線のホームドアは、新宿駅のほか7駅に設置が完了しており、令和4年度内には、本厚木駅への設置が計画されています。これは、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用して、令和14年度を目標に新宿駅から本厚木駅までの全駅にホームドアの設置を完了する計画とのことです。相武台前駅もこの期間内に設置されると認識しています。本市では神奈川県鉄道輸送力増進促進会議を通じて、同社に対して設置を要望していますが、引き続き、早期の設置を要望します。

## 本会議の概要

- ▽11月24日 開会、会期決定、会議録署名議員指名、議案上程・提案説明・総括質疑・委員会付託、請願及び陳情上程・委員会付託、報告上程・質疑、議員提出議案上程（提案説明・質疑・委員会付託・討論）省略・採決
- ▽12月2日 一般質問
- ▽12月5日 一般質問
- ▽12月6日 一般質問、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託
- ▽12月23日 委員会審査報告・質疑・討論・採決、第五次座間市総合計画特別委員会最終報告・質疑、議案上程・提案説明・質疑・委員会付託、委員会審査報告・質疑・討論